

「第9回年次カンファレンス」



1. 開催日時 : 平成27年3月7日(土)
2. 開催場所 : パシフィコ横浜会議センター1階
3. プログラム : *以下のとおり
4. 参加人数 : 約600名

プログラム

特別講演 1 : 医療事故 (9:30~11:00)

座長 九州大学病院 医療安全管理部 前副部長 入田 和男

1. 診療関連死の院内事故調査に関する法改正と新制度
- 医療機関に対して何が求められるようになったか
神戸大学大学院法学研究科 教授 丸山 英二
2. 「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」から明らかにされた医療事故調査の問題
日本医療安全調査機構 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業 福岡地域代表
／九州大学名誉教授 居石 克夫

特別講演 2 : 臨床倫理 (11:00~11:45)

座長 慶應義塾大学大学院 教授 前田 正一

3. 三学会（日本集中治療医学会、日本救急医学会、日本循環器学会）による
終末期医療に関するガイドラインの策定と臨床倫理問題への取り組み
日本集中治療医学会 理事長
／岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救急医学分野 教授 氏家 良人

ランチタイムミーティング (12:30~13:15)

座長 沖縄県立中部病院 副院長 上原 元

生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由（わけ）がある
和歌山県立医科大学 講師 岡 檀

シンポジウム：診療関連死等と院内事故調査（13:30～15:15）

座長 東北大学病院 医療安全推進室 特命教授 藤盛 啓成

1. 大学病院における取り組みの実際、新制度への準備と課題

北海道大学病院 医療安全管理部長 南須原 康行

2. 地域中核病院における取り組みの実際、新制度への準備と課題

済生会新潟第二病院 副院長 酒井 靖夫

3. 中小規模医療機関の取り組みと苦悩 - 準備が進まない原因とは何か？

安田病院 顧問

／国立病院機構呉医療センター 前医療安全管理室専任リスクマネージャー

富永 理子

4. ディスカッション

会員報告（15:30～16:30）

座長 松波総合病院 部長 川口 雅裕

NTT東日本関東病院 治験事務局長 栗原 博之

- ・ 米国における放射線検査と患者安全活動の実際－放射線被ばくとの観点から日本が学ぶべきこと

慶應義塾大学SFC 研究所 医療倫理・医療安全教育研究・ラボ Jay Starkey

- ・ 新生児の低酸素性虚血性脳症における助産師等の経過観察義務違反について判断した裁判例の分析（福岡地方裁判所平成26年3月25日判決）

東京第二弁護士会 高宮 雄介

- ・ 入院患者がベッドから転落して死亡した事案において、転落防止措置と経過報告につき、注意義務違反を否定した裁判例についての報告（岡山地方裁判所平成26年1月28日判決）

愛知県弁護士会 島 幹彦